

宮古市の北約10kmの沿岸部に位置する震災メモリアルパーク中の浜は、かつては海に隣接する緑豊かなキャンプ場でした。しかし震災時に15mを超える津波が押し寄せ、壊滅的な被害を受けたのです。震災後はキャンプ場のトイレや炊事棟を震災遺構として保存し、自然の脅威を後世に伝えています。

震災廃棄物の再生資材を活用した展望の丘に上れば、津波と同じ高さを目線置くことができ、広大な範囲が津波にのみ込まれたことがわかります。丘の脇にある斜面には、そこを駆け上がった津波の高さを示す目印が付けられており、できるだけ上の高台に避難する大切さを痛感させられます。

さらに倒れている炊事棟の柱や高さ約17mの枝に絡まった漁具などに注目すると、引き波の威力もわかります。一方で被害面だけでなく、園内の豊かな自然とふれ合いながら「自然の恵み」も感じてもらいたいです。



メモリアルパークの開園時に復興・ふれあいの森づくりエリアに植えた周囲の野山と同じ種類の樹木。地元の崎山小学校の児童たちがこれらの成長を毎年観察しており、成長している姿から生物の力を感じとっている



公園の中心にある展望の丘は、目線が津波の高さとなるよう設計されている。ガイドの間合せは休暇村陸中宮古へ(☎0193-62-9911、📍6000円※11~50人まで1人増えるごとに100円加算、要予約)



震災遺構として震災当時のまま保存されている「炊事棟」。直径40cmのコンクリート柱がへし折られ、鉄筋がねじ曲げられている。押し寄せた波ではなく引き波によって傾いており、引き波の威力を物語っている

●みやこし

宮古市

震災メモリアルパーク中の浜

●しんさいめもりあるぱーくなかのほま

美しい自然に残された大震災の痕跡



最大震度 5強

浸水面積 10km²

最大浸水深 38m



全壊 2,677棟

半壊 1,328棟

一部損壊 444棟



死者 475人

行方不明者 94人

負傷者 33人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●しんさいめもりあるぱーくなかのほま

震災メモリアルパーク中の浜

☎0193-62-3912(環境省宮古自然保護官事務所) MAP P112E3

📍宮古市崎山第3地割123

🚗三陸沿岸道路宮古北ICから車で15分

👤👤見学自由

📍あり(大型バス:あり)

?

?

考えてみよう

Q1 震災がれき由来の再生資材を用いて造られた「展望の丘」。どのくらいの量の震災がれきが使われたのでしょうか。



A1 大型トラック2800台分。高さ13mの丘に立って、現地を襲った津波の高さを体感しよう。